

秋季大運動会

9月16日(土)

石中名物『集団演技』

3年生応援団を中心にどのような集団演技を行うかをゼロから考えます。テーマ設定、音楽の編集、ダンスの創作と構成すべてを生徒が行っています。できあがったものを3年生応援団が夏休みに1、2年生の応援団に教え、1、2年生の応援団が各団の生徒に教えていきます。運動会練習のほとんどの時間をこの集団演技に割いて練習を重ね、修正と改善を繰り返し、より良いものをとことん追求しています。

☆各団集団演技リーダーにインタビューしてみました☆

緑団



テーマ「忍—SHINOBI—」

コンセプト: 任務を任された忍たちは闇夜の城に潜入。しかし、そこに待ち受けていたのは極悪の侍たち。忍たちは侍を倒し、任務を遂行して勝利の宴をあげられるか。隊形変化やウェーブを駆使して華麗な忍術を表現する。

感想: 最初は全くそろわず、2週間では本番までには完成できないと思っていた。しかし、応援団を中心に一生懸命練習をして、本番では3位という結果で達成感があった。いろいろ大変なこともあったが、がんばってきたことが自分の中で良い経験になった。今年の運動会は集団演技が一番心に残り、忘れられない思い出になった。

小林 羽奈

ピンク団



テーマ「世界平和～We are HERO～」

コンセプト:平和のために戦う家族の物語「インクレディブル」。街中に銃声が響く中、ヒーローたちはいつも平和を祈っている。平和を取り戻すことはできるのか。石中ピンクレディブルの独特の世界観を表現する。

感想:「昨年度の集団演技を超えたい」、「誰もが楽しめる集団演技にしたい」という思いからスタートした。今までにないような作品にしたいと思い、台詞を入れ、おもしろい構成にし、自分の気持ちをたくさん詰めた。本番を終えて、「もう一度踊りたい」、「すごく楽しかった」という声が聞こえ、本当に嬉しかった。私は、みんなが笑顔で踊っているのを見て素直に感動した。 日向野 琳蘭

オレンジ団



テーマ「太陽」

コンセプト:はじめに太陽が活発で輝いている様子を表現。ある時太陽が爆発しなくなり、宇宙の星々が輝き出す。隊形移動により三日月、流れ星、ブラックホールを表現。最後には新たな太陽が誕生し綺麗な夕日が沈む様子をピラミッドにより表現する。

感想:運動会を終えた今、大きな達成感がある。そう思えるのは、運動会本番までに応援団をはじめとするオレンジ団の仲間たちと努力した日々があったからだ。今までにない演技で、オレンジ団にしかできない演技だった。 伊沢 陽奈乃

黄色団



祝 最優秀
集団演技賞



テーマ「MONKEYS ADVENTURE～人間になる～」

コンセプト さあ、冒険のはじまりだ。ボスが教えてくれた幻のバナナを探しにいくぞ。バナナを食べて人間になるんだ。猿らしい動きを表現する。団結力のある集団演技を楽しんでもらいたい。

感想 団をまとめる難しさ、テーマに沿った曲や演技を考える大変さがあったが、終わった時には達成感が味わえた。意見が合わず、もめた事もあったが、本気でぶつかり合えたため、そのたびに団結力が高まった。最優秀集団演技賞がとれて嬉しかった。また、運動会の種目で唯一全員が一緒に出られる集団演技で賞がとれて本当に良かった。
荒川 そら

青团



テーマ「The world of sea」

コンセプト ここは海の底。人魚たちが幸せそうに暮らしている。人魚たちの後ろに怪しい影が。大きな口、鋭い刃。あれはサメのよう。人魚たちは逃げ切ることができるのか。人魚たちが笑顔いっぱい美しい海の世界を表現する。

感想 青团にはダンスを習っている人が少なく、演技の振り付けを考えたり、教えたりするのがとても大変だった。応援団を中心にダンスを皆に教え、皆がそれについてきてくれた。とても良い集団演技となった。
岡澤 琳



紫団



テーマ「STAR WARS」

コンセプト: スターウォーズをテーマに、正義、修行、愛、真実を表現する。ラストに注目して演技を見てもらいたい。

感想: 私は、指示を出したり、皆をまとめたりすることが苦手だったので、練習の時に指示を出すのが嬉しかった。

賞には輝けなかったが、何度も繰り返し練習をしたウェーブが感動するほどきれいになりました。今は達成感しかありません。

青木 悠姫

赤団



テーマ「HOME ALONE」

コンセプト: 家族でパリへクリスマス旅行に。ところが1つ忘れ物を。昨日まで甘えん坊、それが一夜でスーパーキッドに。主人公ケビンに負けないくらい元気いっぱい表現し、旋風を巻き起こします。

感想: 夏休みが終わってから2週間という短い期間だったが、全員で団結し練習にも集中して取り組めた。大変なこともたくさんあったが、本番では素晴らしい演技をすることができ良い経験となった。とても楽しい運動会だった。

佐藤 ひまり

＜競技の様子＞



個人種目で恒例となった借り人競争の様子です。協力してくださった皆様ありがとうございました。来年度もたくさんの方々に楽しんでもらいたいと思います。



選択種目のタイヤ取りの様子です。中央にある50個のタイヤを7つの団で奪い合っています。素早くタイヤにたどり着く人もいれば、それを力尽くで奪おうとする人もいました。白熱した闘いが繰り広げられました。



男子団体種目の綱引きの様子です。(左) トーナメント戦で行われ、およそ300人の男子が熱戦を繰り広げました。1位の青団は圧倒的な強さでした。

女子団体種目の石中 TYhooN の様子です。(右) どの団も力を合わせ、接戦が繰り広げられました。1位でゴールした赤団は飛び跳ねて喜びを表現していました。

< 閉会セレモニー >

表彰が行われ、総合優勝「赤団」(左上)、
集団演技賞は「黄色団」(右下)という結果
でした。しかし、生徒の表情は結果や勝ち負
けに関係なく、達成感に満ちあふれていま
した。応援団を中心に**全員が全力で競技に係活
動にと取り組んだ**からこそだと思います。

自ら輝く石中生の姿が運動会の随所に見
られました。



障害物を並べる準備係



着順カードを渡す審判係



アナウンスをする放送係



< 総団長 坂本大星さんの話 >

始めに、入賞した団を称えていました。し
かし、「賞を取ることが全てではなく、団で協
力して演技をすることの大変さ大切さを学べ
たことが重要である」と語っていました。最
後には、運動会で学んだことを今後の行事に
生かして欲しいと話していました。

< 学校長講評 >

始めに、「中学生らしく若さ溢れる運動会で
した」と一言ありました。話の中で、応援団
の影での努力を称えていました。また、応援
団をフォローした団員についても称えていま
した。伝統ある石橋中の運動会が今年も大成
功に終わり、来年度に向けての期待も述べて
いました。最後に、早朝より参加してくださ
った、地域・保護者の方々への感謝の言葉が
ありました。

